

プロ選手の華麗なプレーに大興奮

FC東京サッカークリニック

JリーグFC東京の都城キャンブが2月9日から17日まで、高城総合運動公園多目的広場で行われました。15日には、市内や三股町の小学5・6年生を対象にしたサッカークリニックが開催され、約280人が参加。参加者らは、憧れの選手と一緒に円形を組んでボールを奪い合ったり、ミニゲームをしたりしてプロのテクニクを学んでいました。永井美幸さん(木之川内小6年)は「選手のドリブルが華麗でかっこよかった。中学校でもサッカーを続けたい」と息を弾ませていました。



地域に根付く郷土料理に舌鼓

地域づくり実践塾

地域づくり実践塾が2月11日、高城生涯学習センターで開催されました。都城盆地の食を通じて地域の文化や歴史を学ぶ同イベントに17人が参加。参加者らは、魚を酢で煮込んだ後、すった大根を入れる酢の汁と地元産サツマイモの団子を作り、思い出話をしながら舌鼓を打っていました。姉妹で参加した宮原恵子さん(都北町)は「生前、母がよく作っていたので懐かしく思い参加した。今日のレシピを参考に、少しでも母の味を再現してみたい」と思い出の味を懐かしんでいました。



園児や地域の人たちの笑顔誘う

山之口中央保育所壁画アート

建物の外壁などに絵を描き、まちを明るく彩る壁画アートの制作が2月15日、山之口中央保育所南側のコンクリート壁を利用して行われました。山之口商工会議所青年部が、同町内の小中学校や保育所で実施している取り組み。都城工業高校インテリア科の生徒らの協力の下、壁面いっぱいには色鮮やかで夢あふれる絵が描かれました。坂元華さん(1年)は「園児たちに夢を持ってもらえるよう、大きな黄色のクジラに花をあしらうなど、楽しいデザインにしました」と力を込めて話していました。



100年の歴史を未来へつなぐ

大王小学校開校100周年記念式典

大王小学校開校100周年を記念して2月15日、同校で記念式典が開催されました。式典には、歴代校長や教職員、保護者らが参加。在校生や卒業生による学校への思いを込めた作文発表や校章旗贈呈のほか、平成13年から本の読み聞かせボランティアとして活動しているひだまりの会へ、感謝状が授与されました。また記念講演では、同校の卒業生で、聖路加国際病院医師の林章敏さんが「地域の輪の中で子どもたちを育て、未来につなげてほしい」と地域との関わり的重要性を話していました。



新クリーンセンター本格稼働 都城市クリーンセンター落成式

清掃工場の老朽化に伴い、山田町に整備を進めていた都城市クリーンセンターが完成し2月28日、落成式が行われました。式典には、関係者ら130人が参加。地域の代表者を交えてのテープカットや山田中学校吹奏楽部による演奏が行われ、完成を祝いました。池田市長は「施設の正常な稼働を願います。センターの稼働により燃やせるごみの種類が増えるが、環境に対する意識を高めてもらい、ごみを増やすことのないよう、市民の皆さんにも協力をお願いしたい」とあいさつしました。



災害に備え士気を高める 住友ゴム宮崎工場総合防災訓練

消防局と企業が合同で実施する防災訓練が3月6日、住友ゴム工業宮崎工場（都北町）で行われました。訓練には、従業員ら約330人が参加。地震により工場内で火災が発生した想定で、従業員で構成する自衛消防隊と消防士らが連携し、消火活動や救急搬送を行いました。従業員らは緊張感溢れた面持ちで、一つ一つの作業を確認しながら迅速に対応していました。岩田拓三工場長は「災害はいつ起こるか分からない。日頃から訓練を重ねて備えたい」と気を引き締めていました。



地域医療拠点としての期待高まる 都城市郡医師会病院等工事竣工式

太郎坊町へ移転整備が進められていた都城市郡医師会病院・都城夜間急病センター・都城健康サービスセンターの竣工式が3月8日、開催され、関係者ら85人が参加しました。病床数が増え、整形外科とリハビリテーション科が新設。併せて、ドクターヘリと連携した救急医療を行うための屋上ヘリポートも備えられ、地域医療拠点としての機能が高まりました。飯田正幸総病院長は「市民の皆さんの期待に応える拠点病院として、しっかりと運営していきたい」と意気込みを話していました。



深めよう地域の絆 みやこんじょボランティアフェスティバル

ボランティアフェスティバルが3月8日、南九州大学都城キャンパスで開催されました。市内で活動するボランティア団体などが一堂に会し、活動を紹介するイベント。2,000人を超える家族連れらが来場し、音訳や点字体験などを通して、楽しみながらボランティアへの学びを深めていました。ボランティアスタッフとして参加した山下詩織さん（西中2年）は「市内でこんなに多くの人たちが活動しているのに驚いた。ボランティアについて考える良い機会になった」と話していました。





人の風景

smiling faces of miyakonojo

全国PTA新聞コンクール 最優秀賞を受賞

高城小学校PTA総務広報部

左から 佐竹 恵 さん

安藤 一彦 さん

有村 幸二 さん



全国小・中学校・PTA新聞コンクールのPTA広報部門で、高城小学校PTA総務広報部が発行する「ゆずりは」が、県内では初めての快挙となる最優秀賞を受賞しました。

同校の校章に由来する「ゆずりは」は、1996年に創刊され、現在は7月と12月の年2回発行。広報部員12人とサポート役の教員4人が編集に携わり、毎号、学習環境や学校生活、地域の課題などのテーマを編集会議で話し合い、その内容を学年や地域単位のグループに振り分け、取材や執筆をしています。広報部長の安藤一彦さんは「記事を書くときには、一方的な視点からの意見にならないように、学校行事だけではなく身近な話題なども取り入れ、バランスの良い内容になるよう心掛けている」と話します。

今回受賞した平成26年度発行の36・37号では、保護者のアンケートを基にした携帯電話やインターネットの使い方、校区内の交通事情、不審者対策などを特集。通学路の危険箇所を紹介したり、警察官にインタビューをしたりするなど、部員自らが取材し紙面を作り上げました。佐竹恵さんは「アンケートを取ったことで実態がよく



分かり、子どもたちのために保護者や学校はどう対応していくべきかを考える良いきっかけになった」と手応えを話します。

委員が足でかせいだ記事と、きめ細かく読みやすい紙面が評価され、最優秀賞を受賞した同紙。安藤さんは「部員一人一人が子どもたちや地域のことを考え、がんばったことが評価されてうれしい」と喜びを話します。

「ゆずりは」はPTA会員への配布だけでなく、公民館の回覧を通じて地域住民にも発信されていて、同校を身近なものにしています。



■大量に出土した状態の良い副葬品

えびの市の島内地下式横穴墓群第139号墓では、1,500年前の地域首長級の墓が、大量の副葬品とともに完全な状態で発見されました。今回の発見は、各県あるいは旧国を単位として、1基程度あるかないかのものと言われています。

鹿児島大学総合研究博物館の橋本達也准教授は「これだけ大量の遺物が完全な状態で見つかることは、一生に一度巡り合えるかどうかの珍しいもの」とコメントを寄せています。



【基本情報】

- ・年代は、5世紀末～6世紀（古墳時代中期末～後期前葉）
- ・島内地下式横穴墓群の中でも最多・最上位の副葬品が、完全な状態で出土
- ・男女と考えられる2人が埋葬されていて、追葬はなし



【特筆すべき点】

- ・地位の高い首長級の人物の墓と推測され、未盗掘であったこと
- ・土に触れておらず、通常では腐敗してしまうような、繊維や革などが多量に残存していたこと
- ・有機物や金属器が良好な状態で残存していたこと

◎問い合わせ

えびの市社会教育課文化係
☎0984-3512268

※環霧島圏域のイベント情報を、市ホームページで紹介しています



盆地生まれの元気をいただきます

1日の野菜摂取量は350g

春ゴボウサラダ

※1人分146kcal、塩分1.0g

ゴボウは、食物繊維を豊富に含み、便秘の解消に効果があるほか、発がん性物質を吸着して排出されることから、大腸がんの予防効果があると言われています。

◎問い合わせ 健康課 ☎23-2765



春ゴボウは、繊維が柔らかくアクも少ないので、大きく切って煮込んでも風味良く、おいしくいただけます。



●材料（4人分）

- ゴボウ…100g ニンジン…40g キクラゲ（乾）…4g
 【キュウリ…60g 塩…小1/6】
 【卵…1個 油…小2】
 【鶏胸肉（皮なし）…40g 酒…大1】
 A 【みそ…小2 マヨネーズ…大3
 レモン汁…小1 薄口しょうゆ…小1】

●下準備

- ゴボウ…細切りにして、沸騰したお湯に酢を入れゆでる
 ニンジン…細切りにして、さっとゆでる
 キクラゲ…ぬるま湯で戻し、細切りにする
 キュウリ…細切りにして、塩を振り軽く絞る
 卵…錦糸卵にする
 鶏胸肉…酒蒸しをして、細く割く
 ※鶏肉に酒を振って、電子レンジで加熱してもいいです

●作り方

- ①Aを混ぜ合わせ、下準備した材料を加えて皿に盛り、錦糸卵を乗せる

ちょっとひと工夫 ゆでたパスタを冷水で洗い、ゴボウサラダと混ぜてパスタサラダにしてもおいしく頂けます。